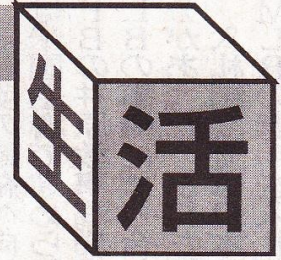


©東京新聞



糖尿病は血糖を下げ
るインスリンというホ
ルモンが不足したり、
うまく働かなくなつた

Dr. 松井英男の在宅医療のカルテ

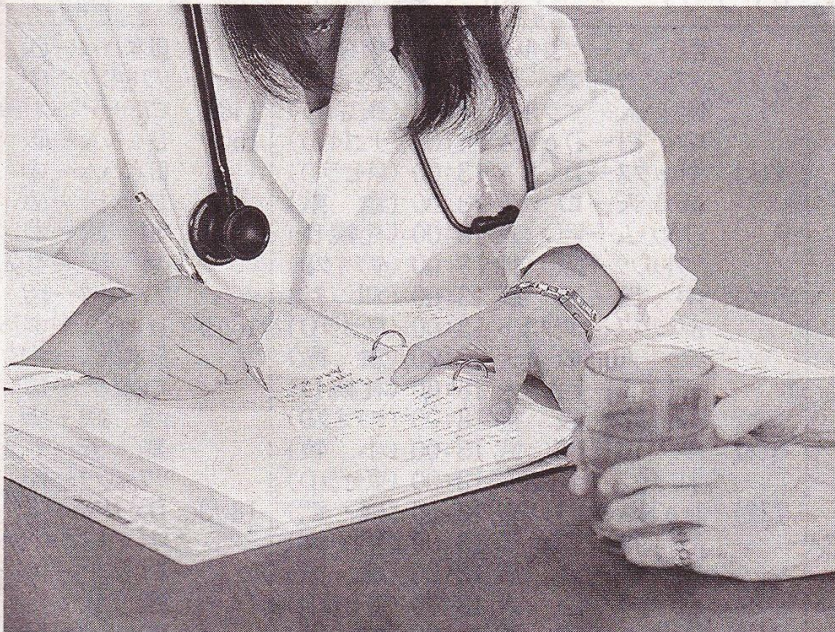


高齢者の糖尿病

りして高血糖をきたす慢性疾患です。血糖が高いと全身の血管が障害を受け、合併症として網膜や腎臓、末梢神経を侵します。全糖尿病患者のうち六十五歳以上が約50%を占め、患者の高齢化も深刻です。

Nさんは糖尿病と認知症で当院の訪問診療を受けていました。ご家族は働いており、日中は認知症に対応できる施設に通っていましたが、時折、介護に抵抗を示すこともあり、家族も手を焼きました。常に何か食べていないと満足しないため、血糖のコントロールも困

他疾患とバランスで治療



患者の話を聞き書きとめる＝川崎市で

難。何とか自宅療養を続けていたのですが、最後は家族も疲れ切り、施設に入所することにになりました。

当院の糖尿病患者では、年齢の中央値は八十四歳と高齢で、糖尿病治療歴は平均十五年

にも及びます。合併症としては腎臓病が三割近くと最も多く、人工透析を受ける患者もいます。半数以上は脳や心臓血管の疾患にもかかわらず、

当院では種々の薬剤による治療を行って

ます。指標となるヘモグロビンA1c値も八割以上の患者が「可」のレベルである7%未満に抑えられ、在宅でも適切に薬を用いれば良好にコントロールできると考えています。

一方、Nさんのように高齢者の多くは認知症も含め複数の疾患を抱えます。高齢者は低血糖を起こしやすく、逆に下痢などによる脱水で高血糖になる危険もあります。糖尿病だけでなく、他の疾患とのバランスで診療しなくてはならない点に、高齢者の糖尿病治療の難しさがあります。

長)

(川崎高津診療所院

掲載
次回は一月十五日